

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語 V B	
科目基礎情報							
科目番号	0081		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年		3		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	『 英語で学ばやさしい科学 Basic Science in English 』 朝日出版社、2017年、1800円(税別)						
担当教員	荒木 英彦						
到達目標							
・ 科学技術に関する英文で典型的に用いられる基本表現を理解し、身につける。 ・ 科学技術に関する英文でよく用いられる基本語彙を身につける。 ・ 科学技術に関する基本的な英文の内容を理解するためのリーディング能力を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	Technical term の語彙力が工業英語3級程度		Technical term の語彙力が工業英語4級程度		Technical term の語彙力が工業英語4級程度以下		
評価項目2	科学的知識に基づく科学英語文献の和訳ができる		科学的知識に基づく科学英語文献の和訳が大体できる		科学的知識に基づく科学英語文献の和訳ができない		
評価項目3	工業英語3級程度の問題が解ける		工業英語4級程度の問題が解ける		工業英語4級程度の問題が解けない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・ 原則として、1時間で1レッスン行う。 ・ 教科書のテキストにより語彙力、リーディング能力を向上させる。 ・ 練習問題により英問英答及び英作文のテクニックを向上させるとともに英文法の復習・定着を図る。 ・ 毎時間、英作文（並び替え）問題（教科書またはCOCET2600の例文）の小テストを行う。						
授業の進め方・方法	中間試験および定期試験を実施し、試験成績(2回の試験の平均点)を80%、小テスト・課題の成績を20%として評価する。 不明な点は随時質問すること。						
注意点	前期・後期とも、中間試験および定期試験を実施し、試験成績(4 回の試験の平均点)を80%、小テスト・課題の成績を20%として評価する。 不明な点は随時質問すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	コラム(1)(2)		英問英答のテクニックと英作文のテクニックを理解する		
		2週	Lesson11		レンズ・鏡に関する語彙・英文を理解する。		
		3週	Lesson12		音に関する語彙・英文を理解する。		
		4週	Lesson13		磁気に関する語彙・英文を理解する。		
		5週	Lesson14		電気に関する語彙・英文を理解する。		
		6週	Lesson15		電気回路に関する語彙・英文を理解する。		
		7週	まとめと復習		中間テストの範囲の学習事項のまとめと復習		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	中間テスト返却		中間テストの範囲の学習事項において理解が不十分なところの確認		
		10週	Lesson16		電子工学に関する語彙・英文を理解する。		
		11週	Lesson17		コンピュータ・遠距離通信に関する語彙・英文を理解する。		
		12週	Lesson18		微生物に関する語彙・英文を理解する。		
		13週	Lesson19		光合成に関する語彙・英文を理解する。		
		14週	Lesson20		太陽系に関する語彙・英文を理解する。		
		15週	まとめと復習		期末テストの範囲の学習事項のまとめと復習		
		16週	定期試験				
評価割合							
	試験	小テスト・課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0